

熊澤渡士くまざわわたし、ロシヤ文學翻譯家。明治二十一年四月八日愛知縣生
 れ、昭和四十六年十一月十六日歿（一九九一―一九七二）。筆名相澤。大正十
 五年東京外國語學校露語部卒。昭和二年雜誌『原始人』同人。二十二年
 愛知大學教授。

譯書、トウレゲーニエフ作『貴族の戀』（大正十一年九月十日）二冊書
 房）、レオニヤド・ヤンダレエエフ作『横の面まはられる娘』（北村
 喜八共譯、大正十五年一月二十三日原始社）、ヤントン・チエエホフ
 作『白鳥の歌』（大正十五年七月五日原始社『原始社プレイレット』、
 『海外戯曲鑑賞讀本・卷參―近代上篇』（共編・北村喜八編、昭和一
 年一月二十日新詩壇社）、「ヤンダレエエフ戯曲選集」（下巻『戀愛
 二部曲』昭和二年十一月十五日原始社）、ビリ・ムロツエルコフスキ
 ー作『舵を右へ』（ソヴェート・ロシヤ文學研究會編、昭和五年七
 月二十日泰人社『ソヴェート・ロシヤ戯曲叢書』）、フリーヂエ著
 『二十世紀の歐洲文學』（昭和六年七月十五日鐵塔書院『マルクス主
 義藝術叢書』）、ツルゲーネフ作『貴族の家』（昭和七年八月二十
 五日春陽堂『世界名作文庫』）、パーシユキン作『大尉の娘』（昭和
 七年十月一日春陽堂『世界名作文庫』）、アレハーン他著『トルス
 トイ研究』（スリ止夫共譯、昭和九年五月二十日隆堂閣）、ゴボーリ
 キイ研究』（共譯・上田進編、昭和十年五月二十五日福田政弘刊、成
 光館書店發賣。再刊・十一年四月二十日秋原堂文館、十五年一月二十
 五日白金鈴社）、マクシム・ゴーリキエ著『文學論』（昭和十一年十一
 月二十日二宮書房）、F・シルレル著『文學藝學の發展と批判』（昭和
 十一年十二月十七日清和書店）、コム・ヤカデミー『文學概論』『小説の本

質(ロマンの理論) (昭和十一年三月十七日清和書店)、「文藝白

科全書」(3)・同「文藝のシヤンル」(昭和十一年七月十七日、4「リ

ヤリズム」(十一月二十日、5「文藝變の方法」(二年四月七日、^{ポエ}ル^ス丸

「^ギツ^チ」(ロフ著「短篇・長篇小説」(六月十九日清和書店)、「ワリアリズム

文藝論』(譯編、昭和十一年十一月十七日清和書店)、「ズルハートウ

イ著「チエーホフのグラフィタイルギー」(昭和十二年六月一日テアト

ロ社)、「ゲーゴリ作「檢察官」」(昭和十二年八月二十日春陽堂「春

陽世界文庫」)等。

著書「メイエルホリド研究」(合著・露西亞文學研究會、昭和二年五

月二十日原拓社「露西亞文學研究」)、「ゴゴーリキネイ人生讀本」(昭

和十一年十月十七日藝術社「人生讀本叢書」)、「ワ人および藝術家と

そのゴゴーリキネイ」(昭和十二年七月五日大阪・カホリ書房)等。